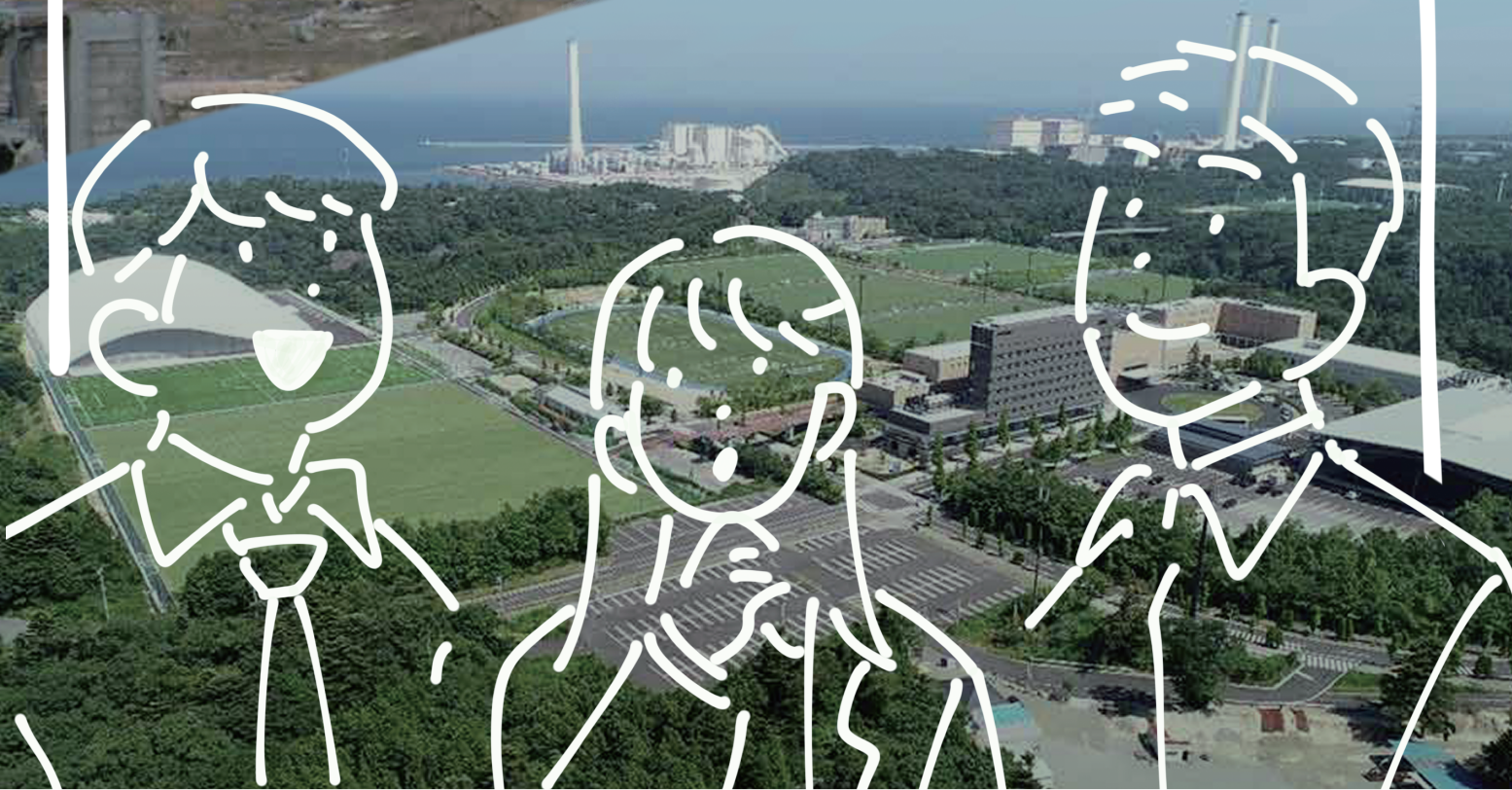


福島について、 誤解してない？

福島県の高校生が
今、みんなに伝えたいこと

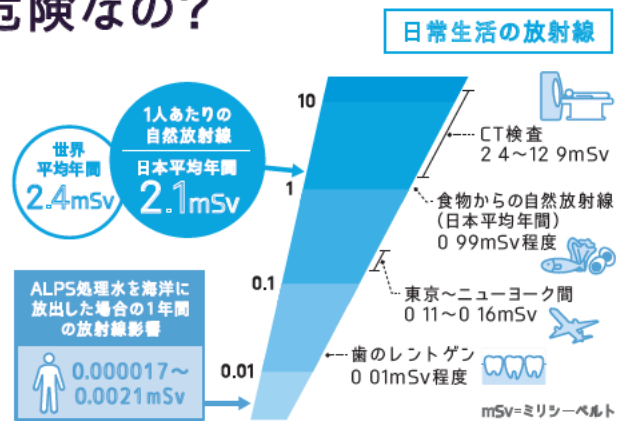


写真提供協力「復興庁」ホームページ「写真でみる復興」

私たちは福島県在住の高校生です
このチラシでは福島県外の大人に向けて
廃炉、そして福島の現状について
誤解されがちな3つのトピックを
比較を用いて説明していきたいと思ひます

Q.放射線ってどれくらいだと危険なの？

私たちは日常的に自然由来の放射線を浴び、また、人工的な放射線を利用しています。『処理水』とは、トリチウム以外の放射性物質をほぼ全て取り除く処理をした汚染水であり、これらを海洋に放出した場合の被ばく量は、日頃から浴びている量よりも非常に少なく、人体に何の影響もありません。



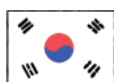
出典: 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所の資料、環境省「放射線による健康影響等に関する統計的な基礎資料(令和2年度版)」第2章放射線による被ばくをもとに資源エネルギー庁にて作成

Q.日本のトリチウム処分量は多い？少ない？

トリチウムとは、自然界にも存在しており、紙一枚で防げるような弱い放射線を発しています。古里原発(韓国)は液体で91兆Bq、ラ・アーグ再処理施設(フランス)も液体で11400兆Bqトリチウムを処分しています。しかし、福島第一原発のトリチウムの年間処分量は、液体で22兆Bq未満です。この数値をみなさんは多いと捉えますか？少ないと捉えますか？



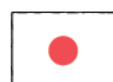
海水中に含まれるトリチウムは紙で通れない!



古里原発(韓国)
液体: 91兆Bq



ラ・アーグ再処理施設
液体: 11400兆Bq



福島第一原発
液体: 22兆Bq未満

出典: 経済産業省資源エネルギー庁資料「廃炉の大切な話 2022」

Q.福島県産の食品って危険なの？

原発事故以降、無意識下で福島県産の食品は危険だと思い込んでいませんか？私たちも始めはそうでした。現在、福島県飯館村では再生土壌で食品の栽培を試みています。そこで栽培されたサツマイモと全国のサツマイモに含まれる放射性セシウム量を比較してみましょう。全国で2021年に検査されたサツマイモで基準値100Bq/kgを超えたものはありませんでしたが、再生土壌で育てたサツマイモも0.3~1.1Bq/kgであり、同様に基準値を満たしていることがわかります。福島県産の食品は他県と比べても同じくらい安全であることがわかります。



サツマイモの検査結果データ(厚生労働省) 栽培作物の放射能濃度(環境省)



※このリフレットは、経済産業省が開催した東京電力福島第一原発の「廃炉」に関する情報発信を考えるオンラインワークショップにご参加頂いた高校生が制作したものです。